

2022年8月14日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup>久宝教会

第65巻第18号(通算3300号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま <sup>ひと</sup>神様がすべての人と共に <sup>とも</sup>おられる  
ことを <sup>あかし</sup>証しして <sup>きょうかい</sup>いく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)



## せいれいこうりんせつ 聖霊降臨節

だい <sup>しゅじつ</sup>れいはい  
第11主日礼拝

《<sup>れいはい</sup>礼拝はインターネットで <sup>ちゅうけいはいしん</sup>中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
<sup>しちやう</sup>ご視聴いただけますので、それぞれの <sup>ばしょ</sup>場所 <sup>とも</sup>共に <sup>れいはい</sup>礼拝をしていただけます》

ぜん <sup>そう</sup> <sup>もくとう</sup>奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね <sup>ことば</sup> <sup>しんめいき</sup>招きの詞 申命記 10章 17-19節

さん <sup>びか</sup> <sup>ばん</sup>賛美歌 21-211番「あさかぜしずかにふきて」(©JASRAC)

せい <sup>しよ</sup> <sup>ふくいんしよ</sup> <sup>しよ</sup>聖 書 マルコによる福音書 9章 42-50節

いの <sup>お</sup> <sup>祈り</sup>

さん <sup>びか</sup> <sup>ばん</sup> <sup>しゅ</sup> <sup>せん</sup> <sup>びか</sup> <sup>へんしゅういんかい</sup>賛美歌 21-530番「主よ、こころみ」(©讚美歌編集委員会)

メッセージ 「<sup>たが</sup>互いに <sup>へいわ</sup>平和を <sup>あ</sup>もたらし <sup>あ</sup>合う」 牛田 匡 牧師

さん <sup>びか</sup> <sup>ばん</sup> <sup>へいわ</sup> <sup>どうぐ</sup>賛美歌 21-499番「平和の道具と」(©JASRAC)

しゅ <sup>いの</sup> <sup>ばん</sup> <sup>てん</sup> <sup>わたし</sup> <sup>ちち</sup> <sup>きょうだんさん</sup> <sup>びか</sup> <sup>かいてい</sup> <sup>いんかい</sup>主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

さ <sup>さげもの</sup> <sup>(\*)</sup> <sup>さ</sup> <sup>げもの</sup> <sup>(\*)</sup> 献げ物 (\*)

は <sup>けん</sup> <sup>ばん</sup> <sup>かみ</sup> <sup>めぐ</sup> <sup>う</sup> <sup>せつ</sup> <sup>せん</sup> <sup>びか</sup> <sup>へんしゅういんかい</sup>派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅ <sup>く</sup> <sup>ふく</sup> <sup>う</sup> <sup>せつ</sup> <sup>せん</sup> <sup>びか</sup> <sup>へんしゅういんかい</sup>祝 福 牛田 匡 牧師

こう <sup>そう</sup> <sup>ばん</sup> <sup>ちよさくけんしやうめつ</sup>後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう <sup>こ</sup> <sup>ばん</sup> <sup>せんしやう</sup>報 告 (4頁をご参照ください)

《<sup>となり</sup> <sup>かんかく</sup> <sup>せき</sup> <sup>すわ</sup> <sup>れいはい</sup> <sup>さんか</sup>お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「<sup>ささげもの</sup> <sup>けんきん</sup> <sup>さんかひ</sup>献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

<sup>うけつけ</sup> <sup>けんきんばこ</sup> <sup>ようい</sup> <sup>かた</sup> <sup>ささ</sup>受付に献金箱がございました。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 申命記 10 章 17-19 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

17 あなたがたの神、主は神の中の神、主の中の主、偉大で勇ましい<sup>おそ</sup>畏るべき神、  
<sup>かたよ</sup>偏り見ることも、<sup>わいろ</sup>賄賂を取ることもなく、<sup>かふ</sup>18 孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を  
愛してパンと衣服を与えられる方である。19 だから寄留者を愛しなさい。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。

聖書 マルコによる福音書 9 章 42-50 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

42 「また、私を信じるこれらの小さな者の一人をつまづかせる者は、ろばの<sup>ひ</sup>挽く  
<sup>いしうす</sup>石臼を首に<sup>か</sup>懸けられて、海に投げ込まれてしまうほうがはるかによい。43 もし  
片方の手<sup>か</sup>があなたをつまづかせるなら、切り捨てなさい。両手がそろったまま  
<sup>a</sup>ゲヘナの消えない火の中に落ちるよりは、片手になって命に入るほうがよい。†  
45 もし、片方の足<sup>あし</sup>があなたをつまづかせるなら、切り捨てなさい。両足がそろった  
ままゲヘナへ投げ込まれるよりは、片足になって命に入るほうがよい。†<sup>47</sup> もし  
片方の目<sup>め</sup>があなたをつまづかせるなら、えぐり出しなさい。両目がそろったま  
まゲヘナに投げ込まれるよりは、一つの目になって神の国に入るほうがよい。  
48 ゲヘナでは<sup>うじ</sup>蛆が尽きることも、火が消えることもない。

49 人は皆、火で塩気を付けられねばならない。50 塩は良いものである。だが、塩  
に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の  
内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」

(脚注 a：別訳「地獄」)

(★底本に節が欠けている箇所<sup>箇所</sup>の異本による訳文：(48 節の文章の繰り返し)

44 そこでは蛆が尽きることも、火が消えることもない。

46 そこでは蛆が尽きることも、火が消えることもない。)



## 《先週のメッセージより》2022年8月7日 平和聖日礼拝メッセージ

「弱さを中心に生きる」より

牛田匡牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章14-26節

「一番小さな環<sup>わ</sup>も、鎖にしっかりと組み合わせられている時にのみ、鎖は切れることはない」(ボンヘッファー)という言葉があります。様々な大きさや太さの環から成り立っていつている鎖ですが、それらが一本の鎖でいられるのは、一番小さな環に合わせた力で引っ張られている時だけ。その環の限界を超えて引っ張ったら、鎖は切れてしまいます。ですから、「一番小さな環を優先し、その環に合わせている時にのみ、その鎖は一本の鎖でいられる」とも言えます。今回の聖書に述べられていることもまた同様で、体が一つの体として調和を保つためには、一番貧弱に見える部分、弱く、劣っていると思われる部分こそを優先させること、それが全体の一致の秘訣であるということなのではないかと思えます。聖書で「平和」を表す言葉「シャーローム」の元々の意味は、「欠けが全くない状態」や「完全にバランスが取れている状態」だそうです。しかし、そのような状態は、私たちの生活の中ではほとんどないのが現状です。どうすれば欠けが全くなく、バランスがとれ、平和を実現できるのか。それは最も脆<sup>もろ</sup>くて、傷つきやすく、弱い部分を大切にすること。自分の中の「弱さ」から目を背けるのではなく、むしろその「弱さ」を中心に据えて向き合うこと、弱さを中心にして生きることではないでしょうか。

「バリアフリー」という言葉も、よく耳にされるようになってきました。エレベーターにせよ、多目的トイレにせよ、障がいや病気を持っている方々など、少数派と言われる方々に使いやすい設備や環境は、全ての人にとって使いやすい設備や環境です。多数派の意見だけが通る社会では、少数派の意見は無視され、排除されますが、そのような社会<sup>おび</sup>では多数派の人、いつ自分がそこから脱落し排除されてしまうかに、常に怯えていなくてはなりません。そのような怯えや疑心暗鬼が戦争の根源ではないでしょうか。弱さを隠し、弱くならないように虚勢を張るのではなく、むしろ弱さを中心にした社会や生き方が、全ての人にとって生きやすい、目指すべき平和な社会なのではないかと思えます。

平和をつくっていくために、私たちはとても小さな存在です。それでも私たちが、自身の限界や弱さに目を背けて、蓋をすることは、隣人の弱さを裁き、叩くことへとつながってしまいます。自分自身の中に確かにある弱さを大切にして、また身近で弱く小さくされている人たちを大切にしていくことができるように、命と平和の源である神様と共にあって、私たちは導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 8月7日 平和聖日礼拝

主日礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 13回  
 献金 大人6,000円 感謝  
 聖書を読む会(創世記36章) 出席5名



◎次週 2022年8月21日(日) 聖霊降臨節第12主日礼拝

招きの詞 詩編 71編 5-6節  
 聖書 エレミヤ書 1章 4-10節  
 メッセージ「あなたが触れてくれたから」岡嶋千宙伝道師  
 賛美歌 21-3番(©P.D.)、21-548番(©教団出版局)、21-480番(©JASRAC)  
 礼拝はインターネットで中継配信いたします。  
 礼拝後に「聖書を読む会」をいたします。『創世記』の37章を読む予定です。テキストはコピーを配布いたします。どうぞご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第7波」が到来し、再び感染者が急増し続けています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・8月1日(月)より30日(火)までの期間、今年度も「キリスト教視聴覚教育講習会 in オンライン」が開催されています。期間中、下記URLよりどなたでも無料で視聴することができます <https://avaco.info/73kousyuukai/>

①「『こどもさんびか改訂版』と楽しい活動&工作アイデア(42分間)」(講師:浦上充先生&望月麻生先生) 日常や教会暦に応じた曲のご紹介や、プログラムへの取り入れ方についてなどのアイディアをお伝えします。



②「緊急時に心を守る『子どもにやさしい空間』づくり」(講師:本田涼子先生) 一瞬にして「日常」を失う災害や事故などの緊急事態。子どもの身近にいる大人は何ができるでしょうか? 国内外で推奨され、世界の災害や紛争地域でも活用されている「子どもにやさしい空間」の具体的なノウハウや、子どもへの接し方を学びましょう。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/21	岡嶋伝道師	聖書を読む会
8/28	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
9/4	水谷牧師	ユーカリスト・教会を考える会?
9/11	牛田牧師	